



4K カメラ時代の一翼を担う 「HP Workstation」

株式会社店舗プランニング

目的

- Boschセキュリティ製品取り扱い開始し、大規模システム、インテリジェントや画像解析用途に提案を開始
- 今後発売される4K対応のBoschカメラをスムーズに録画、再生

アプローチ

- BoschのグローバルパートナーであるHPのWorkstation、サーバーを販売
- 4KのデモにHP Z620を使用

システムの効果

- システム自体は複雑化しているが、工事の手間が減り施工が容易になった
- フルHDなどの高精細カメラを複数台モニタリングする場合や、今後4Kなどデータ量の多く、デコードに非常に負荷のかかる映像にも対応できる

ビジネスへの効果

- 大規模案件にiSCSIの録画ストレージとHP Workstationを採用したシステムを提案が可能になった
- 4Kカメラへのニーズの高まりに備えたシステム提案のためのハードウェアとして信頼できるHP Workstationを提案できる

映像監視システムのデジタル化移行に伴い、IPカメラシステムが市場の中心を担う時代が到来。カメラはSDからHD、フルHD対応製品への高画質化が進行。また、今年度にはフルHDの4倍の解像度を持つ4K対応監視カメラの発売が予定されている。放送用カメラと監視カメラの画質性能のタイムラグが短くなり、映像監視システムの更なる高度化が現実となっている。こうしたカメラ性能の急激な進化にあたって、拡張性などを視野に入れた映像表示モニター、ストレージやサーバなどシステム構成要素にも優れたパフォーマンスが求められる時代となっている。

こうした時代に、最適選択肢となるのは、日本HP（以下、HP）の「HP Workstation」。現在の映像監視システムは、長時間運用、長期間記録、長期保存のニーズが一般的。だが、アナログシステムからの変遷で、一般的なPCを用いて運用するケースも多い。だが、設計にあたっての前提条件が、週5日×8時間程度の業務運用なので、現在の顧客ニーズとは乖離が発生。また、カメラの高画質化に伴い、スムーズな表示に支障が生じかねない。その為、現在の映像監視ニーズに十分応えるスペック、性能を有する「HP Workstation」を組み込んだシステムが今後の潮流となる可能性が高い。

る営業マンを確実に作りながら進めていくために、IPカメラの事業部とセキュリティソリューションの事業部という2本立てで代理店様、エンドユーザー様に対してサポートしていく体制を構築しているのが現状です」（同）。

IPシステムの導入にあたって、一般的に課題と言われるのが施工、設定が困難というもの。先に記したように、同社に寄せられたネットワークの組み方が難しいという声は、未だに聞かれる。だが、同社ではIPの可能性の1つとして、従来システム比でIPシステムの施工の容易さを挙げる。「システム自体は複雑化していますが、工事に関してはひと手間もふた手間も減る形になっていて、施工自体は容易になっています。難しくなるのは設定です。最終的にレコーダーに取り込む段階で10本、20本の配線が一気に入ってくるのと、1本のLANケーブルもしくは光ケーブルが入ってくるのではコストや手間に加えて、建物に与える影響も相当違いますので、そういった部分の差は非常に大きい」（同）。同社では、IPならではのメリットを享受できる大規模システム、インテリジェントや画像解析を求める向きなどに積極的に提案している。

IPソリューションの 事業展開拡大

セキュリティ製品の国内代理店となり、IPカメラソリューションの事業注力拡大を打ち出したのが店舗プランニング。同社は防犯ゲートの販社として創業後、アナログ、HD-SDIソリューションと映像監視システムの取り扱いを拡大。市場のトレンドである高画質化に対して、既設の同軸ケーブルを有効活用できるHD-SDIを国内で先駆的に事業化した。しかし、「HD-SDIは非常に良かったのですが、プラスアルファでHD-SDIにはない機能性、大規模化を考えて」（吉原健太 IPソリューション事業部副部長）、Boschと新たに契約を締結した。

同社ではBoschセキュリティ製品の取り扱い開始とともに、IPソリューション事業部を新たに立ち上げた。その背景として、「新しくIPカメラが広がりが始めた頃から、高画質で綺麗な映像を簡単に見られるという触れ込みでしたが、実際にはネットワークとはどういうものか、ネットワークの組み方が難しいといった声も非常に多い。我々としてもネットワークを組め

表示専用端末などで 「HP Workstation」を活用

同社が販売代理店となったBoschセキュリティ製品の新たなラインナップとして、他のカメラメーカーに先んじて今年度中に4Kカメラの発売が発表されている。HPは同社が取り扱っているBoschのグローバルパートナーでもある関係から、Bosch側でもOEMで「HP Workstation」、サーバを使ったシステムを販売している。



IPソリューション事業部副部長 吉原健太氏



IPソリューション事業部セールスエンジニア 小羊陽平氏



「基本的に Bosch のシステムは、いわゆる NVR と呼ばれるものよりは、もう少し大規模な案件の実績が多いので、iSCSI (internet Small Computer System Interface = アイスカジー) の録画ストレージプラス「HP Workstation」の組み合わせが世界的にも非常に多い。当社が受注済みのシステムでもそうしたものが多く、 「HP Workstation」を使って販売をさせて頂いています。

良く見られる例として、「HP Workstation」にそのまま録画するシステムが多いと思います。しかし、実際にはデータベース、VMS が動いている筐体、もしくはハードディスクで同時に録画するのは非常に危険だというのがボッシュの思想です。では「HP Workstation」で何をするのかと言えば、表示に特化した表示専用端末、アラーム管理などを「HP Workstation」で担う部分です。現在は、フル HD などの高精細カメラが普及しており、それを複数台モニタリングする場合や、今後 4K とかデータ量の多い、デコードに非常に負荷のかかる映像が出てきた場合も、このシステムであれば、非常にスムーズに表示、録画の再生ができるのではないかと期待しています」(同)。

4K カメラ映像の表示に「HP Workstation」

先に開催されたセキュリティショーでは、同社ブースに 4K カメラ実機を展示して、来場者の関心を集めた。4K カメラに関心を持つのは、高画質を求めるユーザー層が主体。また、4K を求めるユーザーは、価格面ではなく機能を評価する向きや、搭載された機能の必要性などを評価するケースが多い。「実際のところ 4K や 4K 以上のレベルを既に求められているお客さまはいらっしゃいますので、そこにメーカー側は追いつけていない印象のほうが実際には強い」(同) との見方をしており、監視カメラの高画質化を上回るレベルで、一層の高画質を要求する層は着実に増えていることが伺える。

HD からフル HD へと高画質化の流れが加速した結果、4K カメラの製品化などカメラメーカーの取り組みが進んだ。だが、表示側がこうした流れに十分に追いついていないと難しいのが実情。同社ではこうした状況に際して、「HP Workstation」を活用。「今回、セキュリティショーで 4K のカメラを展示させて頂きましたが、HP さんからお貸し出し頂いた『Z620』で

ハイスペックなグラフィックカードをつんで、32 ギガのメモリで表示しました。実際にそこまでコストをかけるお客さまの存在とともに、そこまでコストをかけなければ監視する意味がないと思われるお客さまの意識はどの程度のものかと思っていました。セキュリティショー後の感覚では、それを必要とされるお客さまが結構な数に及びました。表示の方もお客さまの要望に合わせて、4K 対応のものが今後出てくるという期待はあります」(小竿陽平 | Pソリューション事業部セールスエンジニア)。

「HP Workstation」など HP 製品への大きな期待

同社では、Bosch セキュリティ製品の販売にあたり、HP 製品への期待は非常に高い。「Bosch のシステムは、密接にサーバとも連携するシステムになっているので、こうした点も考えると全て HP さんの商品で揃えさせて頂くのを前提に進めて頂いています。例えば我々の標準品としての作り込みなどもご協力頂ければ、非常に形として良いものができあがってくると考えています (吉原副部長)。「HP Workstation」については、「監視カメラという視点で見ると、日当たりの良い環境下で長年使われているケースも散見されます。『Z420』や『Z230』のように非常に環境への整合性、耐性を備えたものが出てくるとありがたい」(小竿セールスエンジニア) と期待を寄せている。

IP カメラシステムの特長である拡張性、高機能を生かすには、優れた IT 機器の選定、導入が重要な要素となる。今後は単なる映像監視に止まらず、多用途で活用する流れへ進んでいくことが予想される。今後のシステム構築にあたって、グローバルパートナーとして世界的な実績を有する Bosch セキュリティ製品と「HP Workstation」を組み合わせた同社のソリューションは、国内市場で 4K カメラの発売が迫る中、IP システム採用拡大の一翼を担うものとしても注目される。

店舗プランニング
<http://www.tenpo.co.jp>

取材・文責 セキュリティ産業新聞編集部

「セキュリティ産業新聞 2014 年 4 月 25 日号より抜粋」



記事を共有する

